

犬や自然を愛する人たちが集える

場をつくり、丹波の観光を振興

Happy Dog Life 株式会社

代表取締役

古代裕人さん

取締役

岡田治子さん



岡田治子さんと愛犬アリス、古代裕人さん

平成22年度 採択事業

愛犬家の仲良し3家族で設立

京都市内より車で国道9号を北上し、道の駅を通り過ぎて約10分。旧瑞穂町橋爪の交差点から山側へ至る農道に入ってゆくと、田んぼに囲まれた高台に、冬でも青々とした芝生が広がっています。この気持ち良い空間が、Kyotanba ドッグフィールド（旧Happy Dog Lifeドッグフィールド）です。約8,100m²という土地のうち、約3,300m²に芝生が敷き詰められ、愛犬を伸び伸びと走らせることができるスペースになっています。

運営しているのは、愛犬家の3家族。ディスク（フリスビー）での遊びを通じてしつけをする教室に、集まった仲間同士です。同じトレーナーについて学ぶうち、仲良くなった古代裕人さん、岡田治子さん、森田恵子さんは家族ぐるみで交際するようになり、平成19（2007）年にHappy Dog Lifeという団体を設立します。当時は周辺のグラウンドなどを借りて練習会や競技会を開催していましたが、犬を遊ばせる場所があまりにも少ないので、「だったら自分たちで作ろう」ということになったそうです。



カッコ良く演技を決める古代さんと愛犬

一年中、芝生が青々したフィールド

それから土地を探し、1年後に現在地を見つけました。そこで古代さんを社長に団体を株式会社化し、土地を入手して整地にかかります。実はこの土地、最初は金額的に合わず諦めかけたのですが、リーマンショックの影響があって希望する価格で買えたそう。運が良いというか、ドッグフィールドになる定めだったのかもしれない。

周辺の住民は、荒れていた土地がドッグフィールドに生まれ変わると知って快く協力してくれたそうです。フィールドへの道中、面している田畑の持ち主は喜んで電柱を立てさせてくれました。土地は平らに見えていたのに、計測すると80cmもの勾配があったので、ブルドーザーで整地して水はけも良くなるように改良。緑のあった地元の土木工事が安価に施工してくれたそうです。

観光資源の活用

地域密着

こうして平坦になった土地に、愛犬仲間が集まって芝生ポットを植えてくれたのは平成21（2009）年6月下旬でした。「開設前に目指したのは一年中、芝生が青々とした気持ち良い広場。ですから園芸の勉強をして、夏と冬それぞれに茂る芝生を植え、年中緑でお客様を迎えられるのが自慢です。平らでフカフカした地面は、犬の足を守るためでもあります」と副社長の岡田さん。

当時は競技などに使えるメインフィールドのみの整備でしたが、追って一般の犬が遊べるドッグランとしてのサブフィールドにも芝生を追加し、囲いを付けて電気も引きました。



年中緑のフィールドとクラブハウス

念願の水道とクラブハウスが完成

しかしトイレは仮設で、手を洗う水道も、休憩や事務仕事をする建物ありません。そのあたりを充実させなければ、お客様に心から楽しんでいただけないし、自分たちも不便だけれど資金がない…。

たまたまこの時期に支援事業を知って申請し、「ファンドをもらえたので、念願の水道が引けました。ログユニットを購入し、愛犬仲間たちと組み立ててクラブハウスも完成。クラブハウス内にはトイレとシャワーを設け、電子レンジや湯沸かしポットも置きました。これでお客さんがお弁当を温めたり、コーヒーを作ることができます。スタッフも泊まり込みで作業するのがラクになりました。先日、犬と一緒に泊まったんですよ」と古代さん。自分たちの力だけではとてもできなかったのが、ファンドには感謝しているそうです。

さて、フィールドの使用料は1オーナーに犬1頭で1時間あたり1,000円、4頭までは1,500円。キャンピングカーでやってきたお客さんも、ステイ料は取らないとのこと。使用料だけで泊まれます。また、たとえ1組だけでも予約すれば利用可能です。年中芝生のフィールドは日本でも数少

なく、遠いところからお客さんがやってくるのことで、ドッグスポーツの競技会やしつけ教室、特定の犬種が集うオフ会などに好評で、自分たちで主催もしています。



犬種オフ会やしつけ教室なども開催

様々な活動で地域活性化にも貢献したい

古代さんたちはそれぞれ他に本業があるため、現在は週末と祝日のみの営業で完全予約制となっています。現状ではドッグフィールドへ至る道に案内看板がなく、非常にわかりづらいのですが、「せっかくお客さんが来られても閉まっていると申し訳ないので、営業日だけ旗を立てるんです。今後は認知度を上げてスタッフも確保し、フルタイム営業を目指したい。そうなれば常設の看板も掲げます」と岡田さん。

岡田さんは保育士で、犬のイベントだけでなくたくさん子どもたちに動物とふれ合う楽しさ、自然の中で過ごす魅力も伝えていきたいとのこと。さらに老若男女を問わず、地域の人たちが集う場として、例えばふるさとグルメの屋台村やお祭りなどにもどんどん使ってほしいと望んでいます。

昨年7月からは京丹波町観光協会が始動したので、さっそく加盟。地域の観光資源とタイアップしたイベントの開催などで町の活性化にもつながっていけばと、夢は広がります。

事業概要

Happy Dog Life 株式会社

<http://happydoglifekyotanba.web.fc2.com/>

代表：古代裕人

業種：Kyotanba ドッグフィールドの運営

創業：平成21（2009）年 設立：平成20（2008）年

住所：〒622-0321

京都府船井郡京丹波町橋爪諸内

TEL・FAX：075-393-1129（岡田宅）